

- ◇日時:2025年2月22日(土) 13時~17時
- ◇場所 :山口きらら博記念公園 やまぐち富士商ドーム
- ◇指導者:(敬称略)

【中国審判委員会女子部会】田中よしこ、竹下聖、米村真由美  
 【山口県サッカー協会審判委員会】島川敏弘、森賀 智勇、大原孝子

# 山口県女子審判トレセン ~サッカーの審判を知ろう!~

13:00-14:30 講義  
 14:45-16:00 審判体験  
 16:15-17:00 振り返り



2025年2月22日(土)  
 山口きらら博記念公園 やまぐち富士商ドーム



## ◇山口県女子トレセンのテーマ:【サッカーの審判を知り、主審・副審を体験しよう!】 【サッカーの歴史を学ぼう!】

普段、観客席でご自分の子どもさんを応援しているお母さまと、昇級意欲のある審判員の方の参加だったので、まず、サッカーの歴史・審判のはじまりを島川さんの講義で学びました。その後、競技規則をクイズ形式で習得し、一番皆さんが知りたいオフサイドの理解を深めました。小学生の選手たちも参加してくれて、クイズは盛り上がりました。

ダメなものはダメ、いいことは褒める

まさに母心!

### 審判Refereeの魅力

安全に 公平に 最大限に  
 選手の近くで見守ることができる  
 監督、控え選手、観客、誰よりも近くで  
 とともに走り、ともに汗をかき、ともに感動できる

本日は審判Refereeを  
 少しでも触れていただければ



## 【きららドームで審判実践！】

☆みんなで笛を吹いて、旗を振って、シグナルの確認をしました。

笛の音でお互いにクイズをした時も気持ちが伝わった時はとても嬉しい体験です。

皆さんとても良い笛の音、カッコイイシグナルでした。



☆オフサイド判定も行いました！

ボールが蹴られた瞬間、DFとFWの位置関係は。

最初は戸惑っていましたが、回数を重ねることに自信のある判定をシグナルで示しました。



## 【振り返り】

セミナー室に戻って実際のオフサイド判定をした映像をみながら振り返り！！



## 【トレセンに参加しての感想】

### 山口県代表 島川 敏弘さん

かねてからママさん向けの審判イベント(発案者:大原さん)を開催したく長い間あためていましたが、今年度の「中国 5 県で女子審判トレセン」を機会に、中国女子部会の米村さん、田中さん、竹下さんのおかげで開催することができました。

またお手伝いいただいた森賀さん、この企画を山口県 4 種委員長の水上さん、女子委員会規律委員長の渡邊さんに各所へ展開していただきました。

さらにママさんの参加をしやすくするために常盤スポーツ少年団と西宇部スポーツ少年団にチームの予定を調整していただきました。感謝申し上げます。

はじめに私が行ったサッカーや審判の成り立ちのプレゼンではママさんたちの反応が薄かったのですが、米村さんのクイズを盛り込んだプレゼンでは質問も飛び交い盛り上がり、ほっとしました。

実技では一人ひとり笛を吹き、フラッグテクニックを学んでいただきました。そして、オフサイドの判定を体感、その映像を皆さんで観ながら判定をチェックしました。「難しいね」、「そうなんじゃ」の声が聴かれ、判定の難しさも伝わりましたが、オフサイドをしっかり理解されている様子が見られ実技も大いに盛り上がりました。

これを機会にママさんたちがお子さんを応援やサッカー観戦する際に、これまでと少し違った角度から楽しんでいただけたらと思います。またご家庭で審判について会話をし、ママさんやお子さんたちが審判をするきっかけになればと願っております。

### 女子部会代表 竹下聖さん

寒波襲来の週末でしたが、2月22日(土)に山口県「きららドーム」で審判女子トレセンが開催できとても充実した内容となりました。

今回は、子どもさんがサッカーをされている「ママさん」をターゲットに20名程度が参加されました。前山口県所属の大原さんと島川さんが以前から温めておられた企画で、新たな仲間を増やす、サッカーの魅力を発信するのに素晴らしい視点とと思いました。

特に印象だったのは、島川さんの講義の中で話された審判の魅力です！

「近くでプレーを見れる、一緒に走り、一緒に汗をかき、感動を得られる」個人的にはとても心に響き、原点に戻った気持ちになりました。

実技では、初めに笛を吹いたり、副審フラッグを振ってみたりと体験をして頂きました。

米村さんが、笛の吹き方(強弱や長さ、回数をわける等)をいくつか紹介し、参加者も一緒に実際に吹いてみました。副審の方ではボールが出たときの方向指示やオフサイド、副審からのファウルサポートなど、様々な場面で振り方が違う事などの紹介もしました。

次にオフサイドの判定も体験してもらいました。

まずオフサイドラインがどこになるのかを全員で確認し、守備側が動かない状況で、攻撃側のパス出しとオフサイドラインでの攻守の入れ替わりを判断する事やってみました。1回目は判断できない様子で固まってしまう方がほとんどでしたが、何回かするうちに旗をあげてオフサイドを示したり、オフサイドがないと判断して次へ走ることもできるようになりました。

最後は、守備側も少し動きを入れた状況でオフサイドの判定にチャレンジしました。

振り返りで撮った映像をみんなで見てみると「えー、全然違う」と声のでるほど盛り上がり、現場で見て判断したのと誤差があることも感じてもらうことができました。

最後のクロージングで島川さんが、お家に帰ってご家族の皆さんに今日体験したこと等をお話してほしいと言われた通り、周りの方々にもサッカーの魅力を発信してほしいと思いました。長時間お付き合いいただいた「ママさん」に感謝致します。

今回も島川さんや森賀さんには地元ของทีม・保護者の方々への呼びかけ、会場の準備など、たくさんサポート頂きました。本当にありがとうございました。

新しい審判仲間が増えることを願って、今後も中国地域を盛り上げていきましょう！

＜写真掲載要領あり＞

青 浪 っ き ゃ ん っ  
支 社  
0999-3181  
0999-3186  
0999-3312  
0999-3313

# 県サッカー協会審判講習 スポ少の母親対象に審判講習 宇部、山陽小野田の16人が受講

## 県サッカー協会

県サッカー協会審判委員会は、このほど、山口阿知町のやまぐち富士南ドームで、子どもがサッカーをしてい



田中さん（左）から線審の旗の振り方を教わる参加者（やまぐち富士南ドームで）

る母親を対象とした審判体験会を開催した。参加した16人は、中国サッカー協会審判インストラクターの女性審判員3人からルール、主審の笛の吹き方、線審の旗の振り方などを教わり、審判の難しさを体感した。同委員会が競技人口と審判人口の裾野を広げようと企画。宇部市と山陽小野田市のスポーツ少年団の母親が参加し、講師は広島県在住で、実際の公式戦でも審判をしてい

る米村真由美さん、田中よしこさん、竹中聖さんでは、要望が多かったオフェンスの判定について、実践・攻撃側がパスを出した瞬間に、パスの受け手を感じて、（久保）

今回は、地元新聞社の取材も来ていただきました。  
サッカーにそして審判活動にも興味をもってくれる方が増えるとうれしいです。

2025年2月28日 発刊

